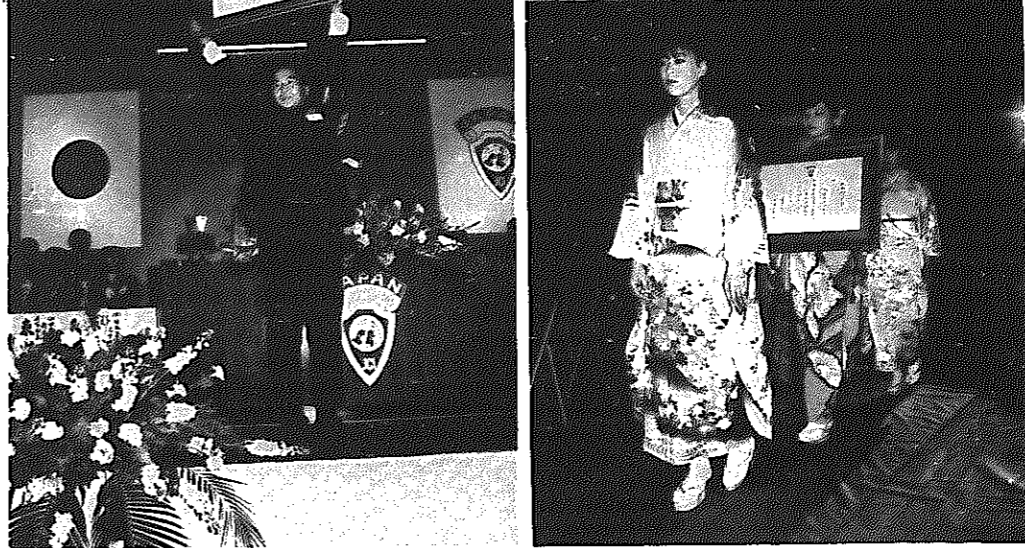
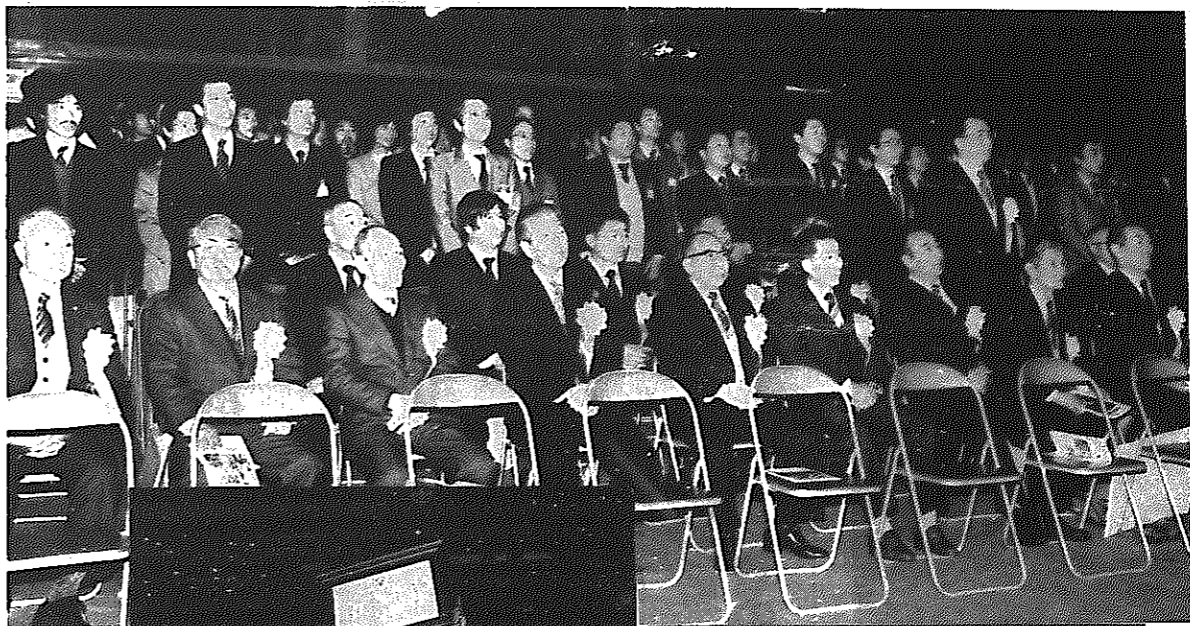


豊かな郷土づくりにまい進

白根青年会議所認承証伝達式

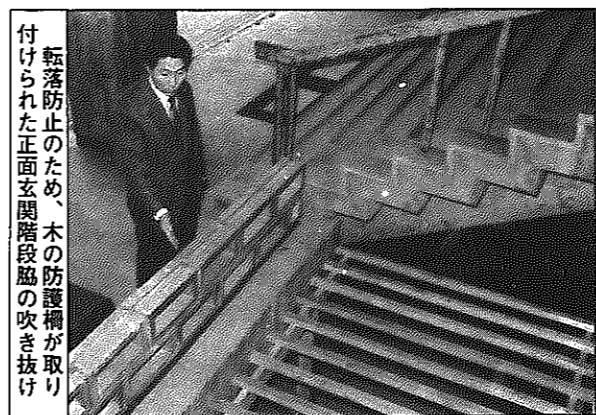


認承証の入場と、認承証を高く掲げる関根理事長

三月十八日、白根第一中学校で白根青年会議所(関根繁之理事長)の認承証伝達式が行われました。当日は、市長代理の滝沢収入役をはじめ君県知事、県選出の国會議員、周辺町村長など多数の来賓が招かれました。また、日本青年会議所、県内外の青年会議所などから約六百人の会員が集まりました。

式では、認承証が日本青年会議所から関根理事長に手渡され、この瞬間正式に白根青年会議所が、全国で七百二十二番目の青年会議所として認められました。

来賓から「郷土はもちろん、国、世界のためにがんばってほしい」との祝辞があり、これを受けて関根理事長は「困難から逃げるのではなく、若者自ら困難に立ち向かって、豊かな郷土づくりに取り組んでいきたい」と話していました。白根青年会議所は、これからが本格的な活動の開始となります。大いに期待したいものです。



転落防止のため、木の防護柵が取り付けられた正面玄関階段脇の吹き抜け

みなさんからの
はがきに応じて

厚生会館の吹き抜けに
転落防止策を講じました

一市民から、市長へのはがきで「産業厚生会館正面玄関の階段脇は吹き抜けになっていて、しかも下がコンクリートです。ここに人が落ちたら大事故につながります。防護策を考えてください」という声が寄せられていました。市では、この声に応じて転落防止策として、吹き抜けに木の防護柵を設置しました。

なお、正面玄関前の歩道は駐車禁止です。でも、守られていないよう歩行者も困っています。くれぐれも駐車しないようお願いします。

表彰おめでとう いんこう杯

茨曾根果樹青年部が 農林水産大臣賞を受賞

このほど開かれた第二十三回全国青年代表者会議で、模範農業研究集団として、茨曾根果樹青年部(小林吉春会長)が、農林水産大臣賞を受賞しました。昭和五十三年に発足した同青年部は、果樹を基幹とした複合経営を目指す農業青年で組織され、現在の会員は二十二名。これまで部員相互の親睦と果樹栽培技術の習得、さらには地域の果樹産地振興への貢献を目的に活動してきました。また、最近では、低生産圃の解消、品種の更新のために、共同苗木養成圃を設置するなど、より積極的に活動しています。

滝沢さんと安藤さんが 消防功労で表彰

永年、消防団員として消防防災活動に尽くされた、次の人が表彰されました。

- ▼消防庁長官表彰 滝沢治郎吉さん(新飯田分団長・六十歳・下町甲) ▼日本消防協会長表彰 安藤政治さん(根岸分団長・五十一歳・下塩俵)

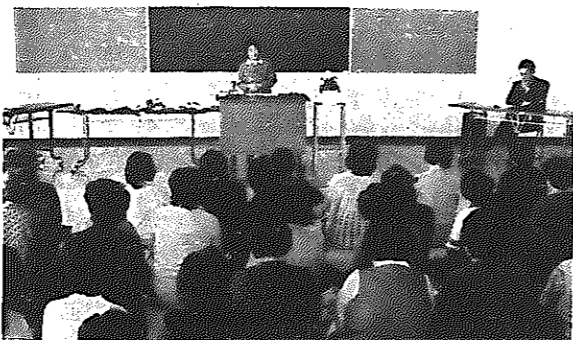
県青年祭で伊丹さん の作品が最優秀賞に

三月四日、上越市で開催された県青年祭で、白根市連合青年団から次の団員の作品が入賞しました。

敬称略

- ▽書道の部 最優秀賞 伊丹玲子(真木新田) 優秀賞 渡辺美代子(東笠巻新田) 石倉光威
- ▽絵画の部 優秀賞 川村隆一(東笠巻) 奨励賞 渡辺恵美子(新飯田横町)

なお、伊丹玲子さんの作品「左の写真」は、十一月に東京で開かれる全国大会に出品されます。



発育に応じた食生活を 健康づくり講演会

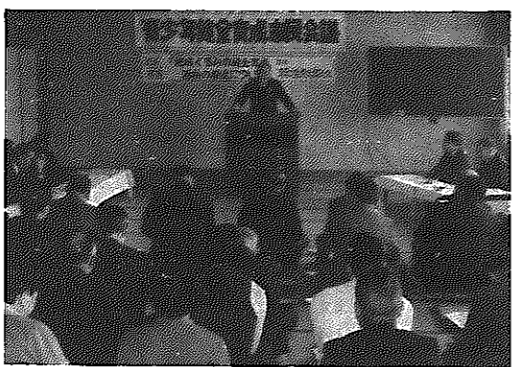
子供は目ざましい勢いで発育しています。特に生活の基礎がつけられる幼児期の後半は、発育に応じた食生活を考え、しっかりとしなすことが大切です。

このようなことから保健センターでは、栄養と健康についてもう一度考えてみよう、健康づくりの講演会を開催しました。

講師に元青陵女子短大助教授の伊藤フミさんを招いて「再び子供の食生活について考える」というテーマで行われた講演に、集まった約七十人の市民は熱心に聞き入っていました。

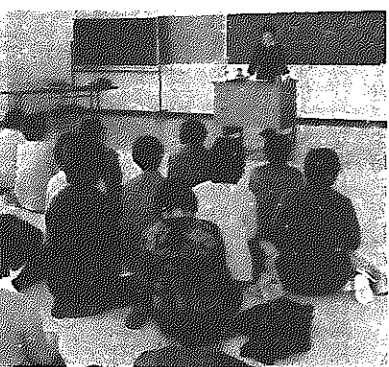
市民総ぐるみの運動を 青少年健全育成市民会議

市民総ぐるみで青少年の健全育成を図ろうと、三月二日、青年教



事例をあげ「青少年の悩みを 考える」講演会

青少年の悩みなどはヤングテレホン☎0252-249708



三月八日、保健センターで、「青少年の悩みを考える」をテーマに、講演会が開かれました。講師は、ヤングテレホンコーナーで青少年や保護者から相談を受けている婦人警察補導員の本間幸子さんで、数多くの相談内容に基づいた講演に、集まった婦人たちは、より青少年教育の大切さを感じていました。

まちの
話 題

